

令和元年度 志摩市ふるさと応援寄附の運用状況



全国のみなさま、志摩市ふるさと応援寄附制度(ふるさと納税制度)にてご支援いただき、ありがとうございます。

令和元年度は、5,303件 374,880,649円※のご寄附をいただきました。

※ 記載の件数・金額にはガバメントクラウドファンディング(GCF)を含みます。

みなさまからいただいたご厚意は、市政の発展のため大切に使用させていただきました。心よりお礼申し上げます。今後も、志摩市への応援をよろしく願いいたします。

令和元年度寄付金受入額内訳

令和元年度 収入額

(1) 環境に関する事業	49,405,569円
(2) 生活・安全に関する事業	22,877,000円
(3) 産業の振興に関する事業	75,681,088円
(4) 健康・福祉に関する事業	32,016,511円
(5) 教育・文化に関する事業	72,628,944円
(6) まちづくりに関する事業	6,699,000円
(7) 指定なし(市長が認める事業)	113,922,537円
(8) ガバメントクラウドファンディング	1,650,000円

(海外留学で志摩の未来を担う中学生・高校生の
視野を広げ、国際的な人材を育む!)

事業別内訳

(1) 環境に関する事業

美化パートナー事業

基金充当額:2,320,000円

志摩市が管理している道路や河川等の清掃活動や、景観保持活動をするボランティア団体に対し、活動支援のための助成金を交付しました。市民の美化活動への関心を高め、訪問客に美しい志摩市をアピールできました。



(1) 環境に関する事業

道路維持修繕経費

基金充当額: 15,000,000円

市道・河川等の急を要する箇所の維持補修を行うことで市民の安心安全につなげることができました。



(1) 環境に関する事業

道路除草防草経費

基金充当額: 5,620,000円

市道幹線の除草箇所に防草シート、防草コンクリートを施工することにより除草面積の削減、ドライバーの視距改良につなげることができました。



広報一般経費

基金充当額: 5,000,000円

市のホームページ上に災害用情報システムを構築しました。また、災害情報アプリの構築も行いました。災害情報や行政情報をタイムリーかつ効率的にお伝えし、情報が入手しやすい環境を整えることができました。

(2) 生活・安全に関する事業



防災対策一般経費

基金充当額: 600,000円

地域が指定する一時避難場所を示す看板を作成し、各自治会へ配付するほか、毎年、海岸利用者を対象とした津波避難訓練(志摩コーストガーディアンズ主催)を実施している阿児町国府・甲賀・志島地区において一時避難場所までの経路を示す一時避難場所誘導看板を作成し、老朽化した看板の取替えを行いました。

(2) 生活・安全に関する事業





保育所管理運営費

基金充当額: 2,400,000円

児童館管理運営費

基金充当額: 200,000円

放課後児童クラブ事業

基金充当額: 800,000円

幼稚園管理運営費

基金充当額: 500,000円

南海トラフ地震や大規模な津波に備え、避難に時間を要する幼い子供たちが、いち早く生命を守る行動をとることができるように、緊急地震速報システムを公立児童福祉施設に導入することができました。

避難所運営用品購入事業

基金充当額: 10,810,000円

大規模災害時における避難所生活に必要な毛布、おむつ、トイレトーパー、発電機対応のガソリンなどの消耗品や、災害時の停電対策としての発電機、コードリール、LED投光器、大型扇風機、避難所でのプライバシー保護など環境改善のための間仕切りなどの備品を購入しました。

また、避難所用カギボックスも購入し、避難所の開設が必要となった場合、いち早く避難所を開設することができるよう市内の主な避難所に設置をしました。



学校安全総合支援事業

基金充当額: 2,430,000円

(2) 生活・安全に関する事業

市内全小中学校(既に導入済の2校を除く)に、緊急地震速報システムを導入し、市内全小中学校において、地震津波避難訓練を実施しました。これにより、市内小中学校では、日頃の防災教育、危機管理、危機発生時における各教職員の役割について理解を深め、各校での防災スキルの浸透を図ることができました。また、地域や家庭と連携して避難訓練を実施できたことから、さらに支援体制や課題の洗い出し等にも役立てることができました。

地震・津波避難対策整備事業

基金充当額: 1,130,000円

(2) 生活・安全に関する事業

志摩市津波避難計画に基づき、避難経路上にある橋の簡易耐震診断を行いました。

対象は、片田地区(志摩市志摩町)の7橋及び国府地区(志摩市阿児町)の8橋で、簡易耐震診断の結果を受けて、避難経路として必要な橋梁の耐震化の取組を進めていきます。

また、地区の要望を受け、浜島幼保園(志摩市浜島町)及び志摩小学校校舎(志摩市志摩町)の屋上が、津波避難施設として使用可能か、津波に対する安全性の検証を行いました。検証の結果をふまえ、今後の対策を検討していきます。



(3) 産業の振興に関する事業



獣害対策事業

基金充当額: 5,000,000円

農林産物及び人畜への鳥獣被害対策活動を支援するため、自治会や猟友会等に対し野性鳥獣の追払い資材費用や捕獲檻の購入費用、食肉利用(ジビエ)に取り組む事業者等に必要経費の一部を補助しました。

志摩市内の農業者に対して有害鳥獣対策のため防護柵、追払い資材、機器購入費の費用の一部を補助しました。その結果、市内農業者の農業意欲減退を防止につなげることができました。



農業の担い手受け入れ推進事業

基金充当額:4,600,000円

(3) 産業の振興に関する事業



地域おこし協力隊の制度を活用し、農業の担い手として、志摩市特産品のいちご「レッドパール」・「きんこ」原料となる隼人芋の後継者育成のため、2名の地域おこし協力隊を受け入れていきます。栽培研修で栽培技術を習得するとともに、自治会活動等、地域活動に積極的に参加し農業の魅力や地域の情報発信も行いました。



6次産業化推進事業

基金充当額:600,000円

(3) 産業の振興に関する事業

志摩市の農業者及び漁業者の所得向上及び雇用の拡大により地域活力の向上を図るため、農業者または漁業者による、6次産業化※に資する取り組みに対し必要経費の一部を補助しました。

※6次産業化とは、1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組です。



農業生産者育成支援事業

基金充当額:2,100,000円

(3) 産業の振興に関する事業

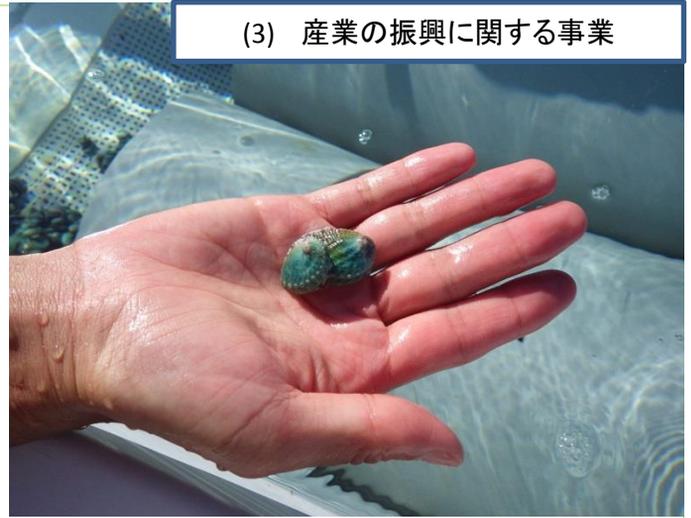
志摩市の農業の担い手の営農継続・確保を目的として、営農活動に必要な機械設備の導入、先進的な取り組みや技術導入に対し必要な経費の一部を補助しました。



種苗放流事業

基金充当額:6,500,000円

志摩市の海女漁業が、持続可能な産業として発展していくよう資源管理型漁業の推進を図るため、海女漁業の主な対象魚種であるアワビ資源の増産を目指し、市内の沿岸域14地域で、漁協や県立水産高校と連携しアワビ種苗を約16万個を放流しました。



(3) 産業の振興に関する事業

(3) 産業の振興に関する事業

真珠養殖経営安定化支援事業

基金充当額:2,160,000円

令和元年度において、真珠養殖に使うアコヤガイ(母貝)の大量へい死が発生し、真珠養殖業を継続する上で大きな問題となったことから、三重県内で母貝養殖の事業化に向けた実証実験を行い、安定した母貝供給システムの構築を先導することを目的に、令和2年度から稚貝からの母貝供給システムの事業化に向け必要な筏10台の準備を行いました。



伊勢志摩の真珠PR事業

基金充当額2,980,000円

産官学の連携により、アコヤ真珠の魅力を発信することで、市場拡大や新たな市場を獲得するとともに協働事業を通して交流人口・関係人口を増やし地域活性化につなげるため、市と連携協定を結ぶ大阪夕陽丘学園短期大学と共催しパールズコレクション2020 In志摩を開催しました。

このイベントの様子は、ICTを活用し、大阪の天神橋筋商店街に同時中継し、都市部にも情報発信を行いました。



(3) 産業の振興に関する事業

水産業担い手受け入れ推進事業

基金充当額: 4,960,000円

(3) 産業の振興に関する事業

地域おこし協力隊の制度を活用して、的矢地区においてカキ養殖漁業者を2名受け入れています。指導者のもとで技術を習得し、委嘱期間終了後にカキ養殖漁業の担い手として独立できるよう後継者を育成しています。



外国人観光客おもてなし推進事業

基金充当額: 470,000円

(3) 産業の振興に関する事業

外国人観光客の誘致促進を図るため、外国人観光客の受入環境整備に要する経費及び誘客活動に要する経費の一部を補助しました。

令和元年度実績

- 多言語化整備事業(3件)
- Wi-Fi利用環境整備事業(1件)

外国人観光客誘致推進事業

基金充当額: 7,990,000円

(3) 産業の振興に関する事業

三重県および伊勢志摩地域のインバウンド関係団体等と連携しながら、効果的な情報発信、セールス活動、視察受入など志摩市観光協会に業務を委託し、志摩市内観光事業者とともにインバウンドの受入を推進しました。



観光振興一般経費

基金充当額: 710,000円

(3) 産業の振興に関する事業

温泉地を拠点に、地域の食や文化、歴史、風景などの魅力をウォーキングでめぐるイベントONSEN・ガストロノミーウォーキングを、令和2年2月29日に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止となりました。準備は実施していたため、準備に要する費用の一部を負担しました。

中小企業支援事業

基金充当額:1,930,000円

(3) 産業の振興に関する事業

三重県版経営向上計画ステップ2以上の計画の認定を受けた市内の中小企業者に対し、その計画の実施に必要な経費の一部を補助しました。

また、日本政策金融公庫の融資制度を活用し、経営改善を図ろうとする市内の小規模事業者に対して、利子補給を行いました。

がんばる市民を応援する事業

基金充当額:120,000円

(3) 産業の振興に関する事業

起業や就職、就労に必要な資格取得を広く支援するため、対象資格を取得した方に補助金を交付しました。

また、地域振興に寄与する市民の育成を目的として、起業や就職に有利となる、市が指定した資格を取得した方に奨励金を交付しました。

御食国海外展開事業

基金充当額:500,000円

(3) 産業の振興に関する事業

国内市場が減少していく中、高価格商品の販売も望める海外市場への販路拡大を目指すため、古くから「御食国(みけつくに)」として都の食文化を支えてきた福井県・兵庫県と連携し「食の国」であることを、香港市場にアピールを行いました。

友好自治体宿泊施設利用助成事業

基金充当額:240,000円

(3) 産業の振興に関する事業

友好自治体である愛知県日進市の市民(市内在住、市内在勤の人とその家族)を対象に、志摩市での宿泊に関し助成金を交付しました。助成金の交付により、友好自治体(愛知県日進市)から誘客を図ることができました。

学生スポーツ等合宿誘致事業

基金充当額:2,340,000円

(3) 産業の振興に関する事業



志摩市への高校生及び大学生などによる学生合宿の誘致を図り、観光による経済波及を促すことを目的に、市内宿泊施設を利用して合宿を行う団体に対し、宿泊に要する経費の一部を補助しました。

スポーツ観光推進事業

基金充当額: 210,000円

(3) 産業の振興に関する事業

伊勢志摩・里海ロゲイニング(配られた地図をもとに、多数設置されたチェックポイントを制限時間内にまわり、得られた点数を競うアウトドア・ナビゲーションスポーツ)を令和2年3月15日に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止となりました。準備をしていたため、準備に要する費用の一部を負担しました。

クアオルト推進事業

基金充当額: 1,820,000円

(3) 産業の振興に関する事業

平成30年6月から日本クアオルト協議会に加盟し、自然環境、温泉、御食国の食材を活用し、質の高い健康保養地を目指して取り組んでいます。令和元年度はウォーキングコースの整備やガイド養成を行うとともに、クアオルト健康ウォーキングを実施しました。



宿泊施設バリアフリー改修補助事業

基金充当額: 4,000,000円

(3) 産業の振興に関する事業

障がいのある方及び高齢者等の宿泊者数を増加させることを目的に、宿泊施設のパーソナルバリアフリー基準を満たした改修工事を行う宿泊施設等に対し、その工事にかかる経費の一部を補助しました。



地域生活拠点づくり事業

基金充当額: 1,800,000円

(4) 健康・福祉に関する事業

買い物困窮地域である高齢化と人口減少が進んでいる志摩市の有人離島の一つ間崎島で、イオン阿児店との協働で、島民も担い手となる買い物支援事業を立ち上げました。



老人福祉一般経費

基金充当額:1,180,000円

令和元年度に70歳以上になる高齢者のみの世帯に対し、急な傷病等、万が一に備えて、対象者へ救急医療情報キットの配付しました。

緊急時に駆けつけた救急隊員が、当該キットの「あんしんカード」に記載された情報(医療情報・緊急連絡先等)を医療機関へ円滑に引き継ぎ、救助に役立てることができるとともに、急な傷病等が発生した際の不安を軽減することができました。また、自治会及び民生委員、福祉委員等の協力のもと配付を行ったため、高齢者世帯の見守りの強化も図ることができました。

また、30年度に配付した対象者にあんしんカードの見直しを行ってもらうよう広報紙等を通じて周知を図りました。

(4) 健康・福祉に関する事業



保育所管理運営費

基金充当額:3,900,000円

令和元年10月より児童福祉施設内でのオムツの処分をしています。回収のため一般廃棄物収集・運搬業務委託を外注しました。また回収日まで安全的・衛生的にオムツを保管するための室内用・室外用のダストボックスを設置しました。

オムツの持ち帰りの必要がなくなり、衛生面の不安がなくなったことから保護者の負担軽減につなげることができました。

(4) 健康・福祉に関する事業



若者の健診事業

基金充当額:1,600,000円

令和元年7月6日・8日に、自ら生活習慣病の予防を心がけ、健康的な生産年齢世代を育成するため20代から30代を対象に、集団検診の場を提供しました。

(4) 健康・福祉に関する事業



中学生海外派遣事業

基金充当額: 3,500,000円

(5) 教育・文化に関する事業

国際社会に対応できる人材を育成することを目的に、市内中学生6人をアメリカ合衆国ハワイ州へ派遣しました。派遣前には事前学習を重ね派遣生としての資質と使命感を高め、訪問中は、訪問先で志摩市をPRするプレゼンを行ったり中学生やホストファミリーなど現地の方との友好関係や絆を深めました。

様々な体験プログラムを通じて海外の文化や伝統を学び、国際的な視野を拡げたり、日本人としての自覚と責任感を高めたり、地域貢献の意識向上を図ることができました。



学校図書館支援員配置事業

基金充当額: 5,490,000円

(5) 教育・文化に関する事業

学校図書館の活性化と児童の読書活動の促進を図るため、学校図書館支援員(3人)を小学校に配置し、資料整備や読書活動推進業務を行いました。



小学校課外活動等支援事業

基金充当額: 2,000,000円

(5) 教育・文化に関する事業

志摩市創生総合戦略の地方創生を進めるうえでの志摩市の強みの6項目である「自然環境」、「食材」、「文化・伝統」、「人のつながり」、「観光」及び「景観」の中の「自然環境」の成り立ちやその中で行われている農林漁業の特徴などを理解するために環境体験学習事業を地元の小学生に実施しました。将来を担う子どもたちがSDGsについて関心を持つきっかけとなる学習を今後も展開していきます。

自主文化事業

基金充当額: 2,000,000円

(5) 教育・文化に関する事業

芸術文化に接する機会を提供するため幅広い年齢層を対象にした自主事業を実施しました。

- ・6/1 皇學館高等学校吹奏楽部コンサート開催
- ・8/31 SHIMAミュージックフェスティバル開催
- ・11/17 白子高等学校吹奏楽部コンサート開催
- ・1/26 演劇公演「カリフォルニアドリーミン」開催



学校給食センター管理運営費

基金充当額:1,500,000円

生産者等との交流を通じて、地場産物(食材)のことを知り、食べ物への感謝や生産者に対する感謝の気持ちを育むとともに、食材を通じて志摩市の魅力を伝えることで、地域に誇りを持てる子どもを育てることを目的として、毎月1回、志摩産給食として志摩市産の食材を使った給食を提供するとともに、食材生産者との交流会を年間6回実施しました。また、志摩産給食の内容や食材に関する情報等について、校内放送を利用して児童生徒に伝える取り組みも行いました。



学校ICT環境整備事業

基金充当額:89,000,000円

学校指導要領改定に伴い、情報端末を利用した協働学習等の充実を視野に入れたICT環境整備を目指し、各小中学校に導入予定の情報端末(タブレット端末)の購入・設定、環境構築をする無線LANネットワークの設定、学習支援ソフトの調達及び環境設定を行いました。

導入業務の結果、普通教室でICTを利用したプログラミング教育等を取り入れた学習を実施することが可能となりました。



伊能忠敬富士山測量記念碑建立事業

基金充当額:2,000,000円

はじめて実測による正確な日本地図をつくったことで知られる伊能忠敬が富士山測量をおこなった本土最南端の地に記念碑を建立しました。史実の残る場所が目に見えるようになり、これまで、埋もれていた志摩市と伊能忠敬のつながりや志摩市の歴史、魅力を発信するスポットが誕生しました。

記念碑建立地からは現在も富士山を見ることができ、新たな観光スポットとしても発信していきます。



中学校空調機器設置事業

基金充当額:31,830,000円

(5) 教育・文化に関する事業

志摩市の中学生の教育環境を整えるため、中学校に空調機器及びLEDの設置を行いました。

若者世代の移住促進事業

基金充当額:2,070,000円

(6) まちづくりに関する事業

若者や子育て世代で、志摩市が定める一定の要件を満たす移住者に対し、移住から1年間(1次産業に就業した場合は3年間)の期間を定めて、毎月支払った家賃の一部を補助しました。

若者の集いと出会いの支援事業

基金充当額:870,000円

(6) まちづくりに関する事業

若者の出会いや地域の魅力を若者が再発見する機会の創出を促すため、市内で開催される若者が集まるイベントに要する費用の一部を補助しました。



移住しやすい志摩づくり事業

基金充当額:520,000円

(6) まちづくりに関する事業

移住に関する支援制度・相談窓口案内を掲載した「移住ガイドブック」の更新・増刷を行い、移住交流施設や観光施設等への配置を設置しました。

また、総務省等が主催する移住相談会に出展し、移住ガイドブックの配布、情報発信用として購入したタブレットPCを用いて志摩市のPR、移住相談により志摩市への移住促進を行いました。



国際交流員配置事業

基金充当額:6,680,000円

(6) まちづくりに関する事業

地域の国際化推進を目的として、アメリカとタイからの国際交流員を配置しました。英語、中国語、フランス語、タイ語に対応できるようになり、ホームページやフェイスブック等で志摩市の魅力や情報を外国人向けに発信し、国際交流員の翻訳により、市内の観光施設等のパンフレットや看板等の外国語表記を進め、窓口での通訳による外国人対応や市からの大切なお知らせ等を翻訳により外国人向けに作成もしています。

また、保育所等へ出向き、異文化交流を行ったり、商工会からの依頼により、事業者を対象とした英会話教室を行い、外国人観光客への対応に役立てています。



移住促進住宅リフォーム支援事業

基金充当額:200,000円

(6) まちづくりに関する事業

志摩市に定住の意思のある移住者を対象に、市内に存する住宅で、居住の用に供する建物をリフォームする場合の費用の一部を助成しました。

移住促進空き家改修支援事業

基金充当額:2,000,000円

(6) まちづくりに関する事業

市外から移住を行う方等(UJターン等)が、市内に存する空き建物を、住宅として使用するために必要となる改修費用の一部を助成しました。

防犯灯及び街路灯維持管理費

基金充当額:3,000,000円

(7)指定なし(市長が認める事業)

夜間における歩行者の安全確保及び防犯対策のために生活道路や通学路に設置されている防犯灯の維持管理を行っています。

点灯しなくなった防犯灯の取替えや腐食した支柱の建替え等の修繕を行いました。

保育所管理運営費

基金充当額:2,000,000円

(7)指定なし(市長が認める事業)

児童福祉施設の痛んだ箇所等の修繕を行うことで、子供たちにとってすごしやすい施設環境を整備することができました。



観光施設維持管理費

基金充当額:1,700,000円

(7)指定なし(市長が認める事業)

志摩市内の公衆トイレの一部を洋式化しました。また、海女資料館の施設維持修繕も行いました。

温泉施設維持管理費

基金充当額:3,820,000円

(7)指定なし(市長が認める事業)

浜島町にある温泉スタンドの地下500メートルほどにある揚湯ポンプと、ポンプに地上電源を接続する水中ケーブルについて、更新を行いました。

志摩パークゴルフ場管理運営費

基金充当額:1,900,000円

(7)指定なし(市長が認める事業)

志摩パークゴルフ場のコース整備に使用する乗用の草刈機が、経年劣化により故障し修理不可能となったため、新たに購入しました。



ともやま公園管理運営費

基金充当額:4,500,000円

(7)指定なし(市長が認める業)

風雨等により内野の土が減り外野の芝生部分との段差ができ、小石の突出や凹凸があるなど安全に競技が出来ない状況となっていた、ともやま公園球場の野球グラウンド内野部分の土の入れ替えを行いました。

道路維持修繕経費

基金充当額:6,470,000円

(7)指定なし(市長が認める事業)

安心して通行できるよう、市道の区画線を施工しました。市民の安心安全につなげることができました。



消防団施設維持管理費

基金充当額:2,800,000円

(7)指定なし(市長が認める事業)

屋外ホース格納箱及び消火栓ホースを購入し、消防署や消防署の分署から遠い11地区で老朽化したものと交換を行いました。

防災対策一般経費

基金充当額:1,300,000円

(7)指定なし(市長が認める事業)

災害時にリアルタイムで現場の状況を把握及び情報共有するためのツールとして災害対用スマートフォン25台を整備しました。



スクールバス運行管理事業

基金充当額:36,500,000円

(7)指定なし(市長が認める事業)

学校再編により閉校となった東海小学校と東海中学校の校区から通学する児童生徒の安全安心な通学手段を確保するため、スクールバス運行管理業務を委託し、志摩小学校と志摩中学校の校区から通学する児童生徒の安全安心な通学手段を確保するため、通学定期券代の全額補助を行いました。

小学校管理運営費

基金充当額:4,000,000円

(7)指定なし(市長が認める事業)

各小学校の消防設備修繕、その他施設修繕等を実施し、教育環境の改善を図ることができました。

中学校管理運営費

基金充当額:5,170,000円

(7)指定なし(市長が認める事業)

各中学校の消防設備修繕、その他施設修繕等を実施し、教育環境の改善を図ることができました。

スポーツ推進一般経費

基金充当額: 4,430,000円

ソフトボール・野球などに使用できる移動式外野フェンス(移動式のため、ビーチサッカーなど他の種目や様々な場面で利活用可能)を5基購入しました。また、サッカーのコーナーフラッグとゴールネットを2組ずつ購入しました。

備品を整備したことにより、ササユリカップ等の大規模な大会運営が継続して実施でき、ソフトボール等の大会や合宿誘致につなげることができるようになりました。

(7)指定なし(市長が認める事業)



証明書コンビニ交付システム構築事業

基金充当額: 29,900,000円

個人番号カードを使用し各種証明書をコンビニエンスストア等で取得できるよう証明書コンビニ交付システムを構築しました。

マイナンバーカードを利用して、コンビニエンスストアなどに設置されたマルチコピー機から住民票の写しや税証明書などの各種証明書が取得できるようになりました。

(7)指定なし(市長が認める事業)



海外留学応援奨学金給付事業

基金充当額: 1,406,000円

ガバメントクラウドファンディング
活用事業(GCF活用)

異文化や世界の人々との交流を体験しようとする好奇心や挑戦する意欲を持ち、その経験から学び、社会貢献に役立てようとする志摩市の生徒が、諸外国へ留学するための費用の一部を留学奨学金として給付しました。



令和元年度中の基金の動き

令和2年3月31日現在

【収入】	
○ふるさと応援寄附金積立額	369,316,551円
○基金利息	158,865円
【支出】	
●基金活用(取崩額)	363,076,000円
使途内訳	
環境に関する事業	22,940,000円
生活・安全に関する事業	23,870,000円
産業の振興に関する事業	49,230,000円
健康・福祉に関する事業	8,480,000円
教育・文化に関する事業	137,320,000円
まちづくりに関する事業	12,340,000円
指定なし(市長が認める事業)	107,490,000円
GCF(海外留学応援奨学金給付事業)	1,406,000円

令和元年度末時点での基金残高

令和2年3月31日現在

志摩市ふるさと応援基金 1,277,580,660円

環境に関する事業	310,962,168円
生活・安全に関する事業	37,503,005円
産業の振興に関する事業	156,032,002円
健康・福祉に関する事業	161,550,003円
教育・文化に関する事業	106,881,110円
まちづくりに関する事業	97,351,100円
その他個別の指定する事業	420,000円
指定なし(市長が認める事業)	405,797,004円
GCF(海外留学応援奨学金給付事業)	244,000円
基金利息	840,268円